

繪首書
入書

世界都路

南亞米利加洲

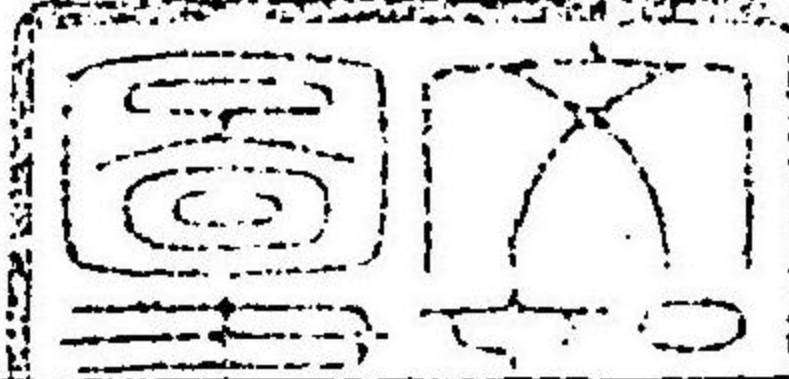
六

特31

592

函
架
號
册

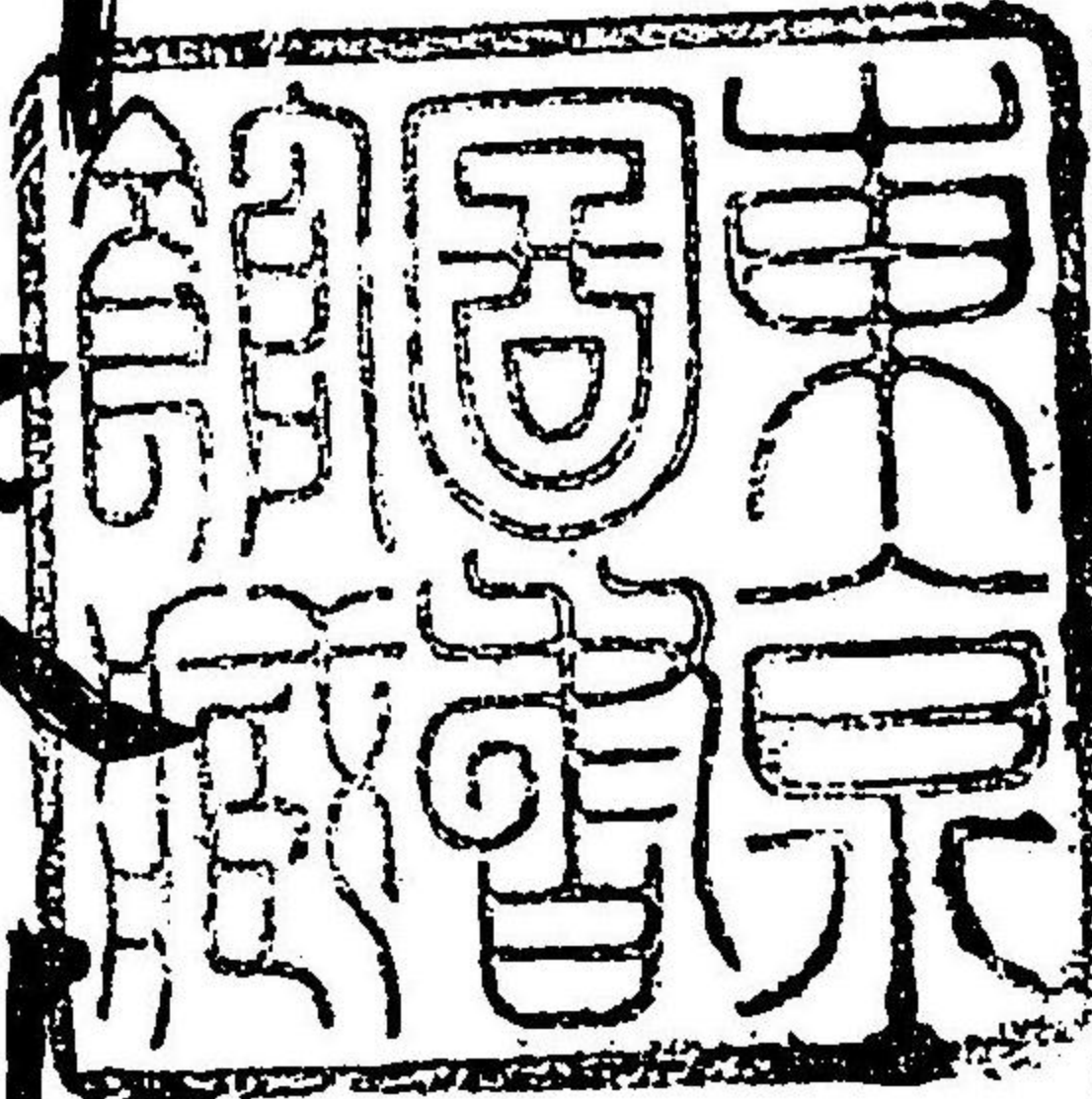
共六本



特31
592



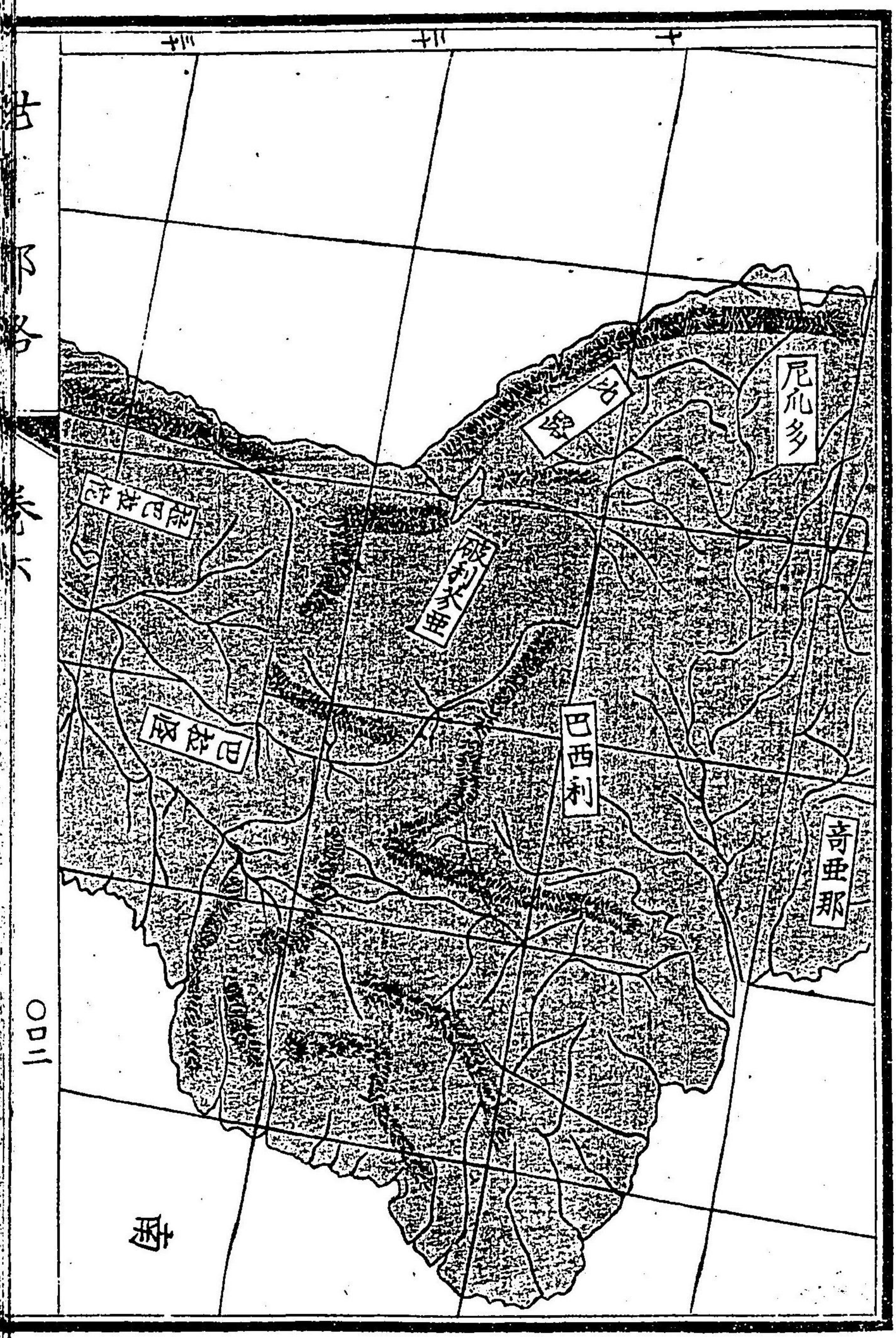
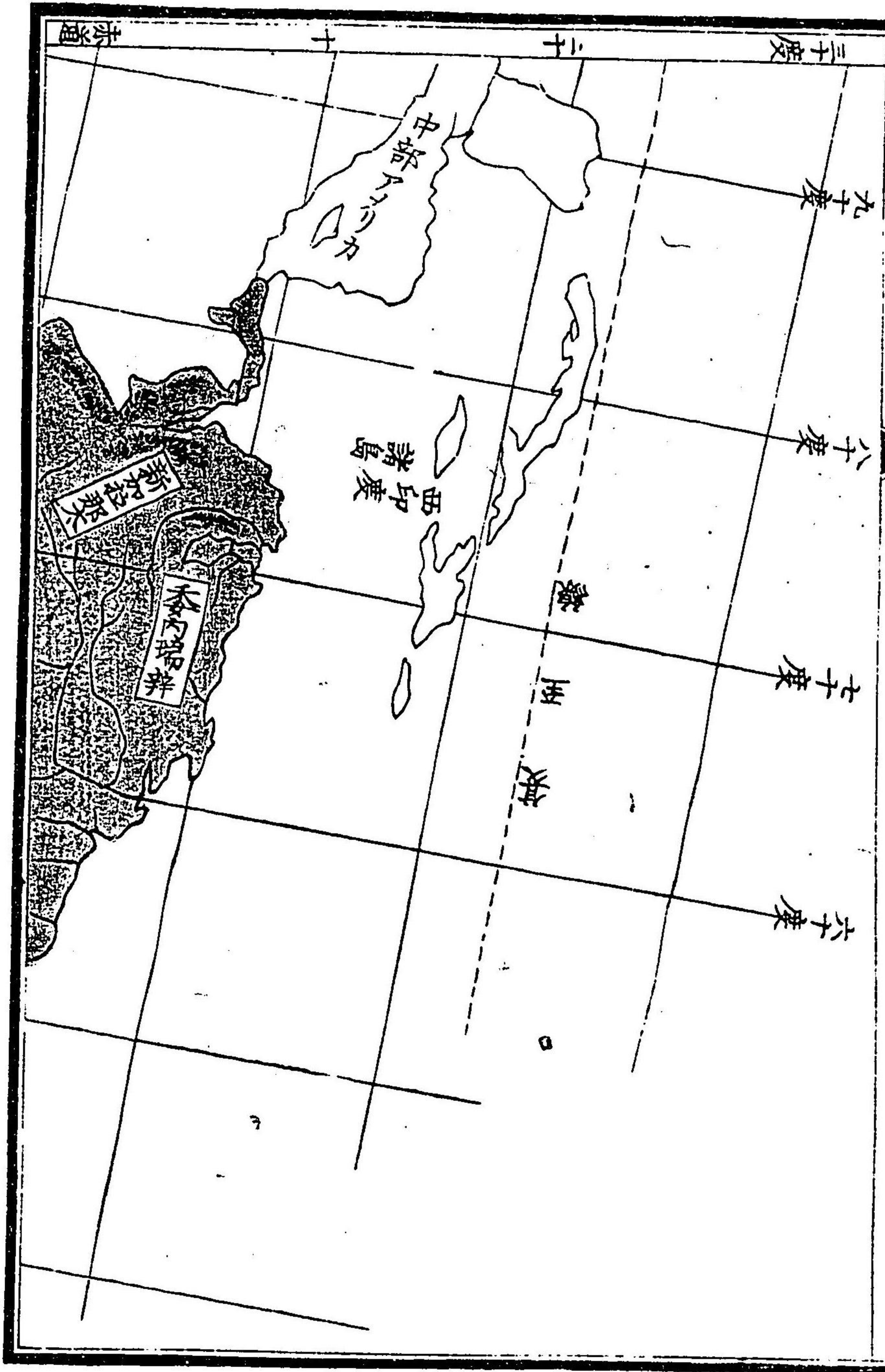
南宋利幹全圖

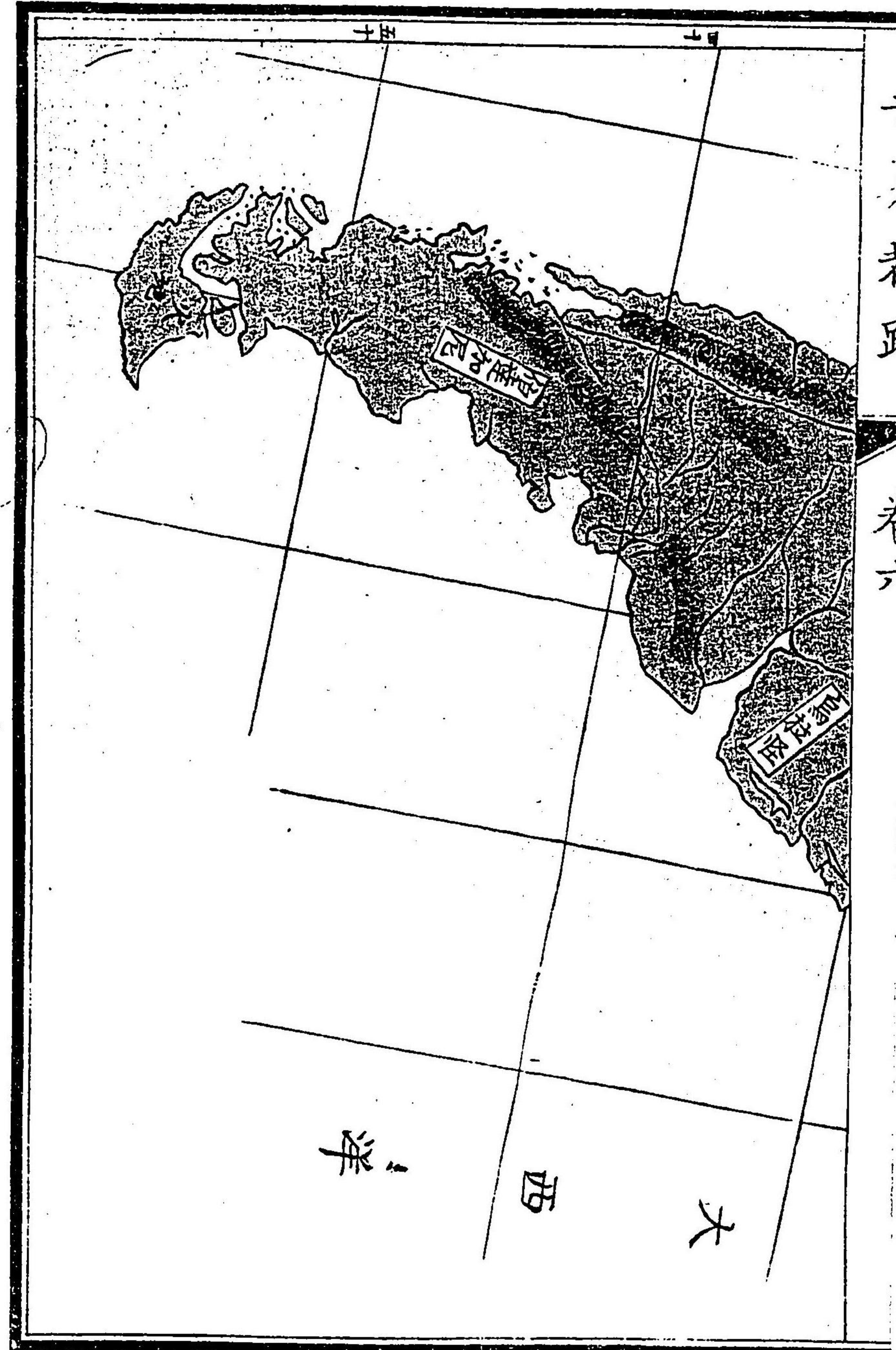


世見不各

卷六

011





南亞墨利加洲

南亞墨利加洲の事
 利加の事
 二箇の大
 東洋の界
 西洋の界
 大西
 北の
 加立比恩海の界
 其居民一千五百
 三十五萬餘
 初め此洲西班牙王
 其臣可崙と遣はし
 新地を尋ね先此

南亞墨利加洲

北より南へ續く

亞墨利加の境を

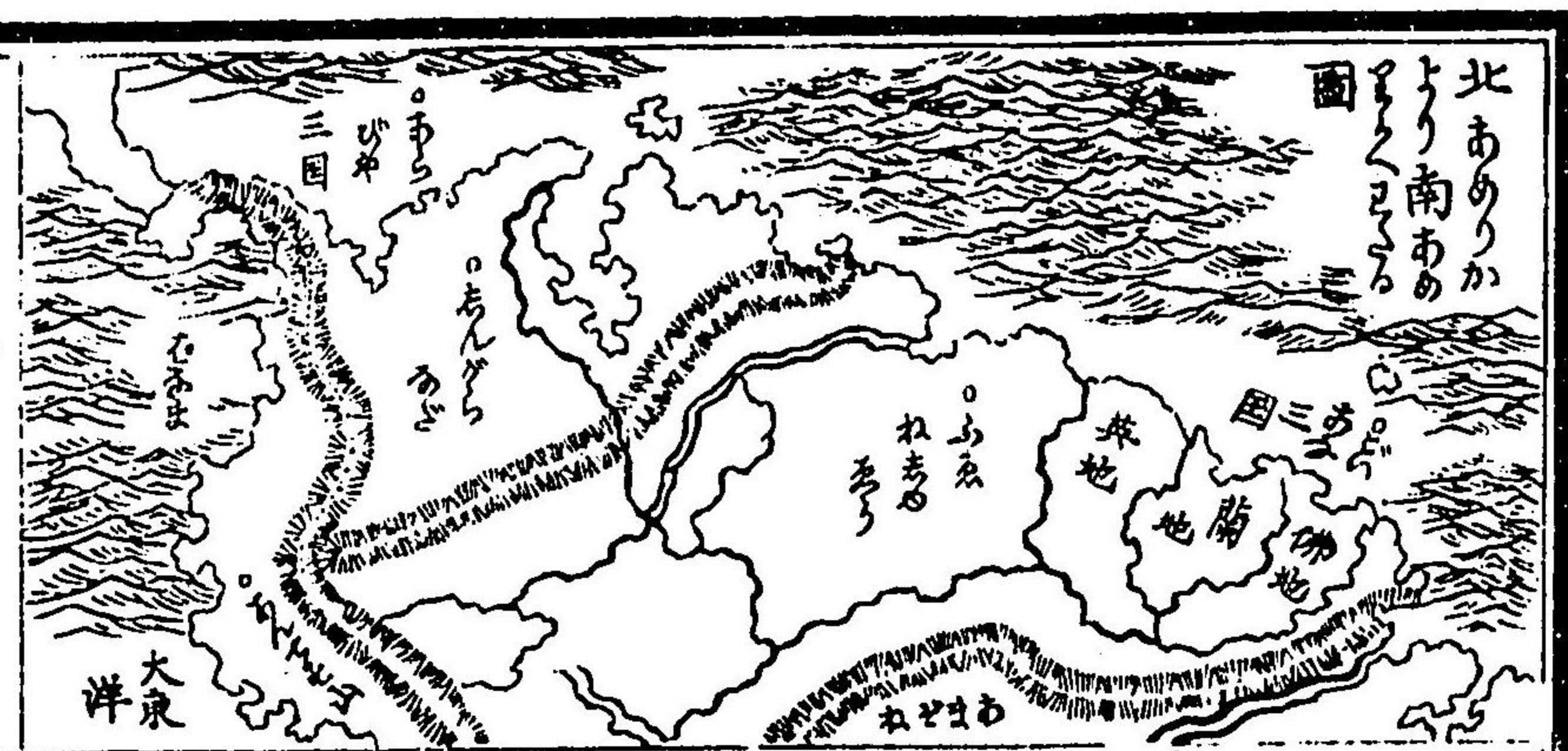
別つ可ふ比亜其の

分ぬのむとる。

古史部各

土と取り三部と建
つ後一千八百十年
我文化七年其部人
波里瓦爾といへる
者兵と挙て西班牙
人と逐ひ連戦八年
遂に捷克と得て自
立ふし可倫比亚國
と云ふ
南亞米利加各國の

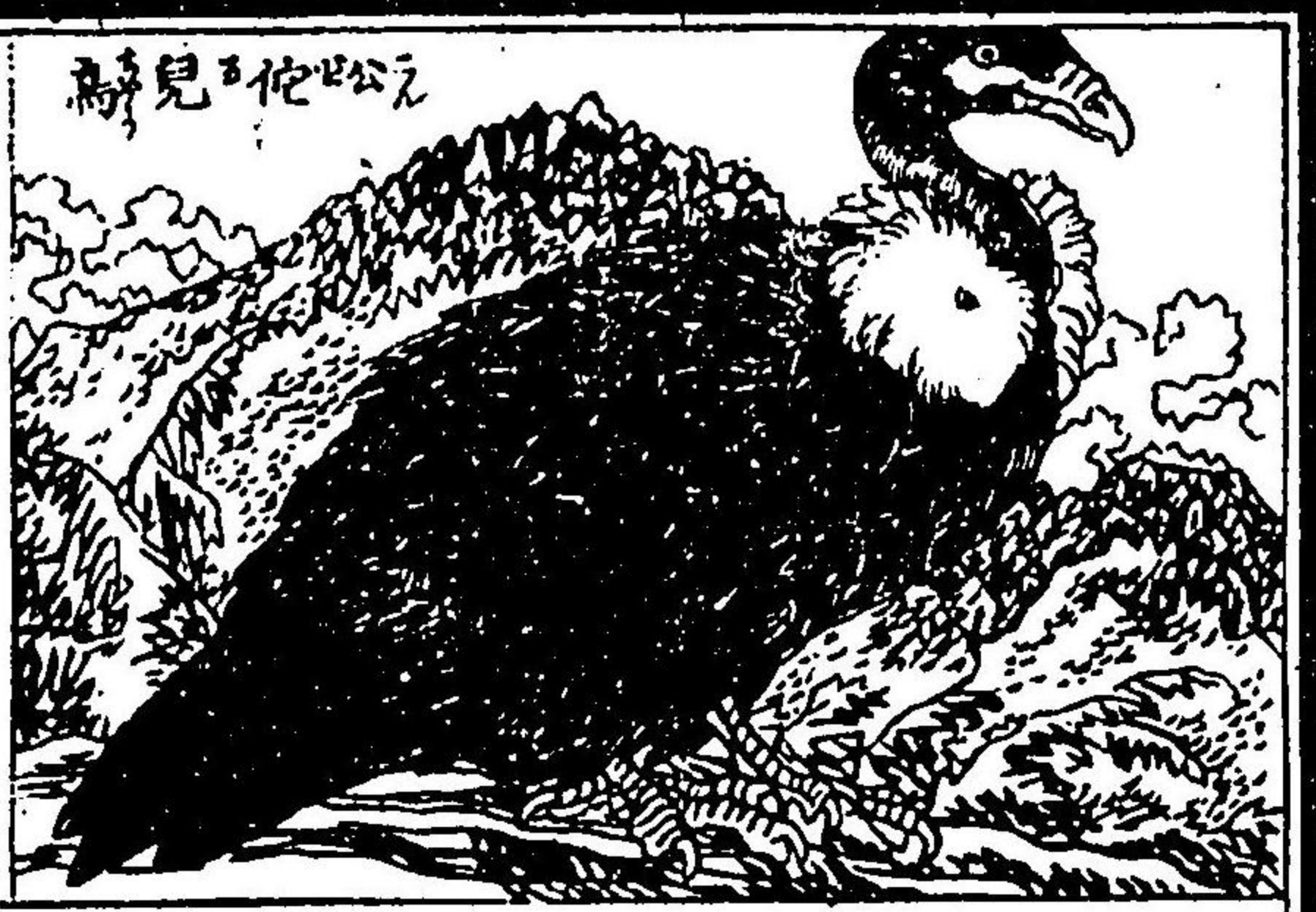
巴拿馬の地陝疾
越る。遂に車道の
東に間ふ安達斯
山の山麓に内地り
通ふ船路あり樹木



の林や昔の如き
海に深山絶て
樵者も跡も見え
公使の羽も
まゝも悪風の吹ぬ

大緊西班牙と葡萄
 牙の管轄ありしが
 可崙比亞の叛き
 後各々自立せり唯
 歪阿那の三部の
 英吉利佛蘭西荷蘭
 の三箇國分て領屬
 とせり
 ○可崙比亞の南亞
 墨利加の極北の境

木の葉ももるめと降
 ころも指下枝をさう
 ちのりま。獅子も
 吼びや腹蛇は毒
 事ふも大陽也。



鳥見の他公元

あり西の方ふ安達
 斯の大山あり高サ
 三百餘丈又火峰有

光り哉野の天陰地
 稀るも美る禽獸の
 藪より出くお人
 馬を害を甚むあり
 山又山の丸打水又

東の方ハ平地多
 く河筋縦横不つら
 ぬき海辺ハ熱き酷
 しく水土馴す内
 地ハ漸温和の時侯
 居べ一産物加非
 白糖煙葉金銀珍珠
 寶石と出此地西
 班牙ハ叛きて後舊
 邦ハ仍て三國とを

水は音厚く。昔の
 掛橋は木舟を古
 の使は雪消えを。
 未井え人の玉ふ
 目々々々扇々々

則ち

新加坡那太國

西北の境ハ在り巴



大沙社中ふ大ふ
 敷箇を水の端わ
 枚ふきを舟折可
 命は無國なる之百
 七十九年ハ伊太

古

卷六

拿馬由り北亞米
 利加と相連り地
 氣潤ひ田甫豊饒
 しと物産多し其地
 七十八部に分つ
 厄瓜爾多國
 新加拉那太の南
 在り西小界ひ山
 々亦連き其餘平
 地多し地氣温く

里人の可峯も一
 土地を換出
 する。新号りる
 西班牙領は小
 まそそ世和政
 地



都の聖基
 田土潤ひ交易盛ん
 あり地を八部に分
 け首府を山谷の中

一種の風俗を賭博
 を好む民多し婦
 女を他人に見る
 許す者
 あり

の建つ基多と名く
委内瑞辣国

二国の東中在り大

河國中の横帯り河

の北中平地多く炎

熱殊中甚だしく河

の南山多く温和中

一と物産極り豊

あり地を十二部と

あり大府と山谷の

垣石の人多くやしも

市を以て仇とて母

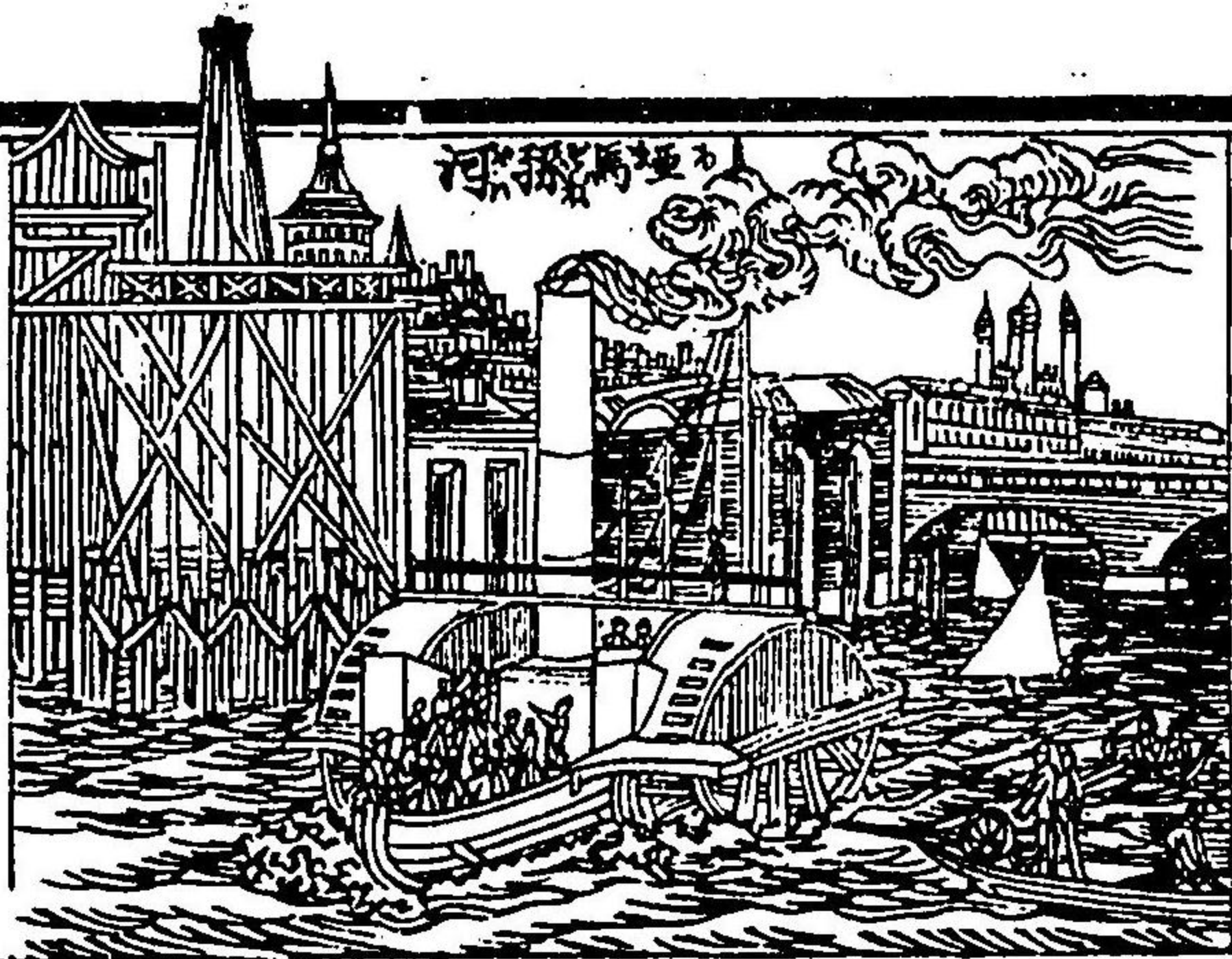
を校を抗つて土

人性未悍と結

狭く能るるありあり

中中建つ
○巴西の南亞墨利

加の大國あり其地



此地を指して古く

より新加拉那大と

稱す如地氣濕熱

り土法は物産豊

饒金銀を取るとも

一洲の半は居る
 北東の西面大西
 洋海に距る西北
 可崙比亞の界
 西の幸露玻利非亞
 中界以西南ハ巴拉
 圭烏拉亦ハ界し地
 勢平地多く間ハ山
 嶺あり江河多し
 長一最も大ハ
 長一最も大ハ

錫恩四箇は抗部府
 平地ハ地ハ巨ク部
 毎リ一連ハ金城の
 如ク一連ハ福す連
 界ハ南ハ隣ハ厄



者ト亞馬孫ト云
 西より東河ハ海
 中似たるをサンフ

凡爾多東ハ方の委
 内瑞辣大ハ河ハ國を
 横スリ河ハ大ハ
 平地のハ南ハ
 山多ク赤道ハ南ハ

ランシスコと云ふ
 赤南よりして北を
 烏路愚愛と云ふ北
 より一と南河の
 大ひある亞馬孫由
 亞ぐべき者あり
 其水流もて大西洋
 海に入る其餘小河
 数多し
 此地千五百年代葡

尖熱を。覆ひく
 あり。緩やうり。豊
 ち地理ふよるあり。心
 於ん。て。壘
 阿那。る。方。東。佛。美。の

葡萄牙人伯得祿阿爾
 瓦利斯といえり者



三箇島。は。三。部。より。分。つ
 領地あり。平地を隔
 つ山脈は。界を。越。す
 亞馬孫は。大。河。の。東
 一。帯。り。南。亞。墨。利。加

大蛇

セリ

〇八

其地不距り土沃曠
 きを見し國人を徒
 一丁開墾きし葡萄
 牙西班牙の爲る拜
 せらと一より巴西
 又荷蘭の爲る奪
 へと五十餘年を經
 葡葡牙國を彼も
 の後荷蘭人を逐ひ
 たらひと本水歸し

河の半截白く西
 水より李甫をある
 福如次より魚取
 大河の流如末も
 西海如海ふ入江の

阿非利加の黒奴を
 買ひ耕作の助けと
 し民聚りて二百餘
 年遂に海西大部と
 する物産多く金銀
 寶石と出と山林に
 異馬大蛇多し十八
 百年代の始め葡萄
 牙王佛蘭西帝一世
 拿破侖の爲る過り

多きより報あるひ
 えある儀より友も
 なる波袖へくは土
 子轉る外此の人種
 なる昇拓地大國

逃々巴西中道と都
と被地ゆ移ると雖



葡王
歸國

分々十部里約熱
内産は大部府
人戸一百五十萬
市産環をせめら
百貨豊溢る

内乱ゆ因て其地
止まると得て千八
百二十二年終る太
子伯徳祿を留り
本國ゆ歸り然る
ゆ伯徳祿自立し
巴西帝と稱す
葡萄牙王本國
歸り死ると及
バハト口の女

好名の集大耳目を
帝廟殿を院
諸字館部煉糸
近き海島小交際徳
國は高好も群る

リと立て葡萄牙
女王とせしめ其
伯父「ミグエル」之



ありの塊を運ぶに
やらみふと又反る西
才極く此浄土を
釋迦のふは後か輝
依合仰ふ教法を

と黜け自ら國王
と爲り是れ於
て巴西帝位と其
幼冲太子の禪り
自ら兵を將めて
葡國を攻入り其
弟「ミグエル」と戦
ひ之を逐ひ退け
終つてこの位中
復す

かある個々持多
々々南境不物
立つ一小國は巴拉
政體文武政所
割度不習不格

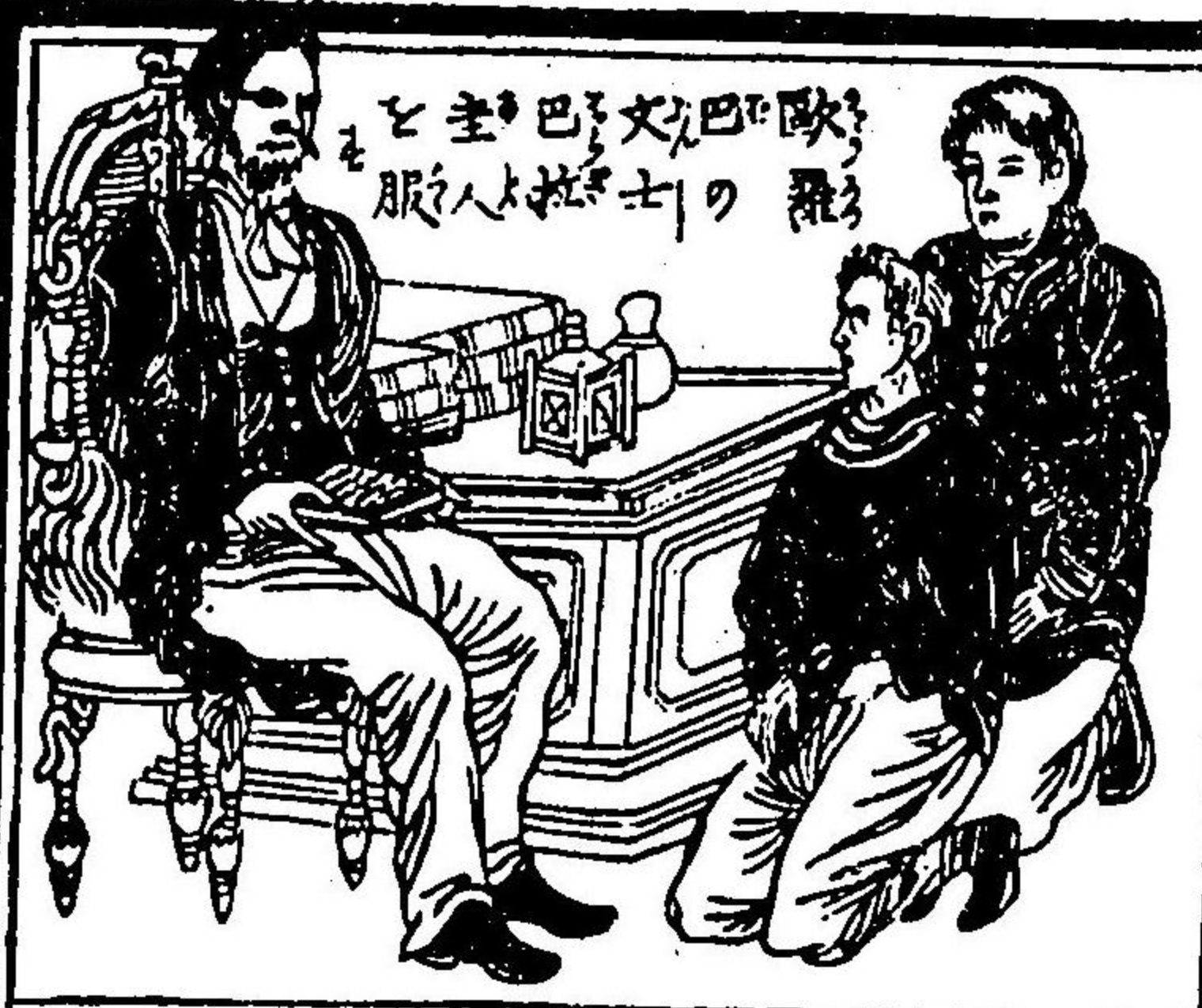
巴西人ハペトロ帝
 の太子と相助け
 事と理を由り別
 小海西の大国と為
 り示後葡国ハ屬せ
 人人口現今千七百
 八十萬餘あり
 ○巴拉圭ハ小国シ
 巴西拉巴拉他の間
 小在り千五百二十

の隣も敢て侮らば。
 侵すはたゞ海を必
 の中獲の堅きゆゑ
 少くも寸艫も大の
 勢ひを張るゝるゆゑ

六年意大利人塞巴
 斯徳央加波初々其
 地を開き九年と經
 西班牙の爲め奪
 りて三洋教師の管
 理する所とありし
 千七百年の南洋
 教師と遂に拉巴
 拉他ハ隷ヒラブラ
 夕西班牙ハ畔くよ

如小國ハ開化の域
 子傳るをゆくを
 歩らば其邦ハま
 隣る島拉乖大西
 洋の海面を生活

り巴拉圭又自立の
國とある時西歐羅
巴の文士此地に在
り巴拉圭人推して首



交々其原く山を
南より其の方平地ふ
四箇此河筋を交
せきく豊饒の地
都を其の地維四能

長と地と二十小
部の中物産地
比も甚多し
○烏拉赤ハ巴拉圭
の南あり東ハ巴
西ハ界以南ハ大西
洋ハ距り西北兩面
拉巴拉他ハ界以南
ハ山あり北ハ平地
多し地味宜く物産

やそ僅々九都の
國形は物産多
者其の始は生
力其の地を内
羅其河也塞波拉的



極めて豊あり
○ 宇露ハ南亞米利
加の名高き國あり
舊く玻利非亞と合

一ノ國と為今別
中分る北ハ可崙比
亞中界ハ東ハ巴西
中界ハ南ハホリビ
ハ中界ハ西ハ大洋
海ハ距り安達斯大
山ハ西北ハ國ハ西
界ハ環ること帯ハ
如ハ平地の高き野
百餘丈山下ハ炎ハ

巴拉大の河哉潮。
安達斯山の峰ハ
まハ上國ハ名も著
死地勢ハ高き宇
海ハ岸上帯ハ

雪江積。山下
山ハ北ハ可崙比
土膏ハ健蔬穀ハ
よハ江似



山上の雪を積めり
其地古くより土番
國と建て風俗墨西

地不産穀乃
 出る如農事其
 意國民の極
 饑饉之苦
 其五十年餘年
 其地古くより土番
 國と建て風俗墨西

哥可倫比亞と同ト
 西班牙既ホ可倫比
 亞と得て此地を開
 くの時連軍深く入
 り軍卒層崖よりこ
 べり落ち或は山路
 と失ひて餓死を稍
 くホし其國都由
 至る番王戦ひと知
 らむ炮火の怖へ

西班牙は其地を離
 きて共和政府とあり
 其地七都に分
 其地内の都の利馬
 其海岸は近く其

敢て争はざ国遂に
 西班牙の據所とあ
 るより 西班牙人群
 り来りて 礦山とひ
 らき生獲ること日
 が小繁一千八百年
 代の初の 西班牙佛
 蘭西の 侵さる属國
 多く 畔々露り又
 智利と兵と合して

第一 部 今 東
 南 小 波 利 亞 亞
 南 小 波 利 亞 亞
 智 利 西
 牙 牙 牙 牙 牙
 牙 牙 牙 牙 牙



西人の逐ひ逐め自
 立して 國中王と立
 居 民 皆 西 人 の 苗

民も 獨立した。權を
 隣に 福を 享く。
 今も 自由の 國を
 治す。文武 兼人
 政事 善く 勤む

裔あり善外客と待
請し交りて親と深
し唯放蕩ホ一賭
と好むこと可憐地
西の俗と同ト其地
と七部ホ分つ地
金銀の外物産多し
○政利非亞又高索
露と名づく守露の
東南ホ在り東地巴

氏の風俗を私に
篤く愛する者をして好
て禮をなす女子に
娼女の嫁娶も亦
嬉むる者多し

西の界以東南の隅
巴拉圭の界一南
拉巴拉他の界一西
南の隅智利の界
安達斯の山脉分
西の界以在者
火峰多く東の界
ホ在る者の雲と貫
ぬき常に雲と積む
其地守露と舊一國

柳の縁ゆり金
奏する常も福なるも
形を字にえり理
地勢頗る細長
峻なる小橋あり

西の大洋海中距り
 東南巴他我拿小接
 一地の形細長く
 智利の玻利非亞
 の西南に在り東の
 方安達斯大山と阻
 ち拉巴拉他に隣り
 部小分つ
 國王と立地七六
 く共和政治あり
 んを下等露と名づ
 産相同ト故に俗時
 小一と地気風俗物

高き山々を雪冠
 積る煙を噴く如く
 火山等は角の如く
 たりたり地を震
 の憂ひは多しと云



西の大洋海中距り
 東南巴他我拿小接
 一地の形細長く

蒼田忽地碧海空
 雲の如く煙を噴く
 山々如く雪冠
 紅銅の蔓延

帶の如く初め西班
 牙露と獲りて進
 んて智利と攻む土
 人拒と戦ひ王降ら
 せ四年を越へて又
 瓦爾的維亞と云る
 將小命して進ん
 攻め地と得て幾何
 むくアルテイフ
 イア阿老千人の為

獲る玉は業五穀
 豊年宜実る八
 部五分土地毎
 貧民個の多ら
 以者部の是層の



阿老千人西班の
 大将と
 殺す
 小殺さる西班才其
 得る所の地と以て
 寺露ふ附く

其地牙我海を
 隔つ乃はゆと運ぶ
 便利もて運ぶ車
 や必くは拉
 巴拉他是智利の

阿老干の智利別部の最も強き者千七百七十三年西班牙始めて智利を滅ぼして其全土を得る而して阿老干の一部始終属せざる智利小国ぬんと露諸国の比以非を然とどる土気沃

東に一大地國を大河の源ひを西洋に流すの筋西に山嶺を我に解き牛馬牧



以鑛山多し千八百十年西班牙佛蘭西の爲に侵さば亞米

畜産原野の四境に十の家を此民を昔より孝聖畜集む萬億の牛を捕へる業とある。

利加諸藩の部皆畔
 く智利も拉巴拉他
 の助け由りて始
 めて西班牙人と退去
 かじむ
 ○拉巴拉他の智利
 の東に在り北に玻
 利非亞東に巴拉圭
 島拉非小界に東南
 の大西洋海に至り

肉を食ふ。皮を
 寝骨に敷き。結
 器皿を以て又馬小騎
 里子茶を馳免
 之程を以て牛を

西南巴他裁拿の界
 を國の内の大江河
 り國名と同ト又北
 里可馬若佰默若と
 いへる西の河あり
 東南の由つて大西
 洋海に入り西北に
 山嶺あり舊水野蕃
 部落とあせり千
 五百年代の始り西

至るを捕ゆ。こゝの
 智ひある都。巴
 拉大は海口。通
 高き廣き。空の
 出入毎集。教を有。

班牙王其臣索利斯
命して之と攻め
取りと有とを千八



牛の皮を其交易
角突合の國を
極南境は
巴他義拿是也
すあひ
野を傳ふ

百八年部人西班人
と逐ひて自立の國
と一利堅の傲ひ
共和政治と建
兼接亞墨利加國と
稱を然も共法制立
たど規則調いど其
地十四部に分り
○巴他義拿の南亞
米利加の極南境を

人金の野を番を多祭
主人の技を常人の
一身中をたよふ出
適程おのく先紙
野獸を撰て

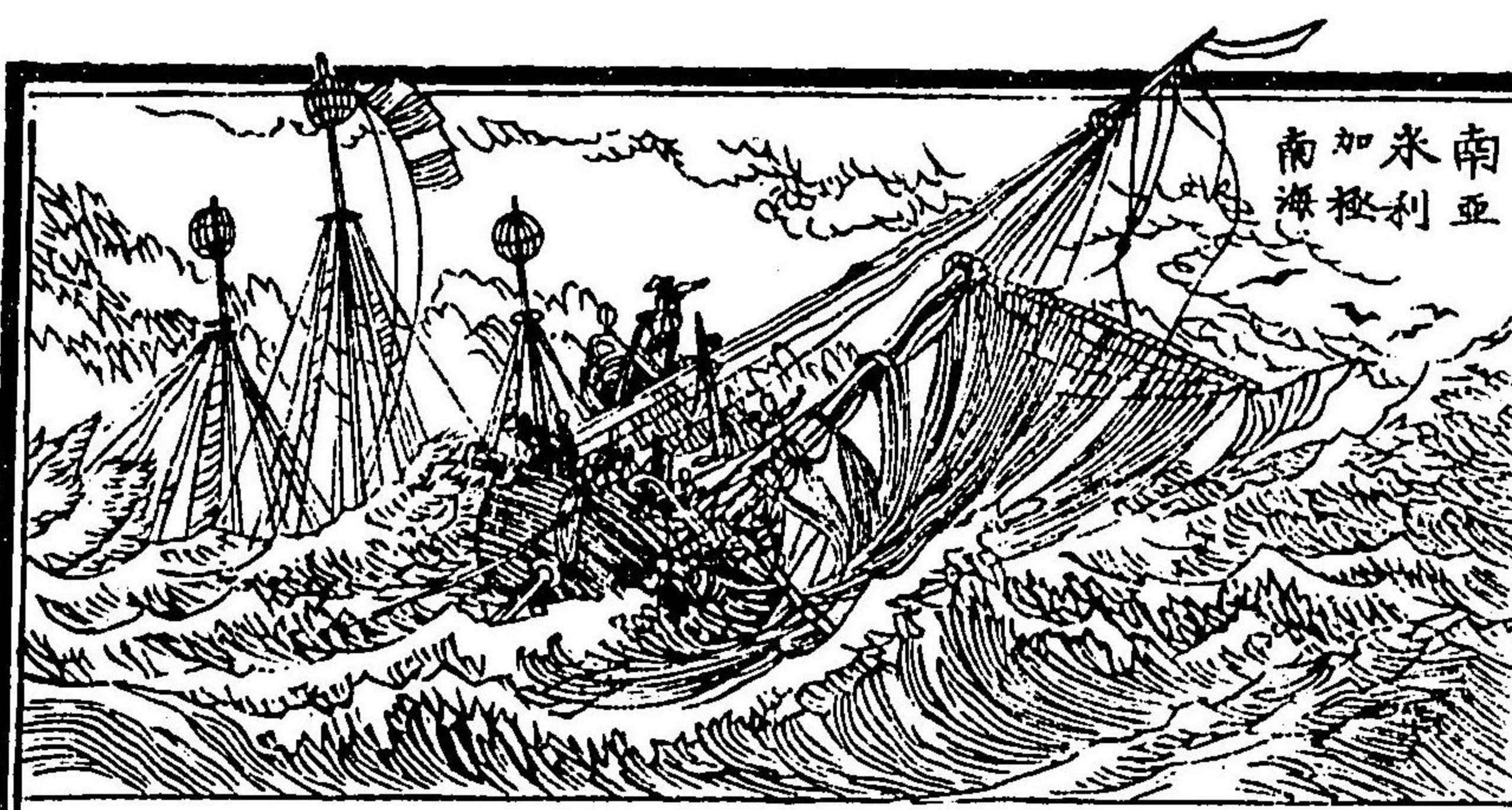
り北の拉巴拉他智
利小界し東の大西洋
洋海西の大洋海南



食と多し。一
土地の住居は他
小の強き。生来
北氣の強き。水
境は。毛の

の南海の距り其
地草木荒穢人皆
無智の野番あり身
材常の人小猶半身
を加ふべし地気寒
さ厳しく北亞米利
加の北境の如し此
地不毛にして物産
あきふより歐羅巴
人此のいたりる

國小物産は。あ
たふの右の気。歐
諸の北人。地を
括り。此の地を
一言。問ふ。是



南亞米利加海

由りしを港の内
 中名多く船を換ふ
 言ふ事近以鉄
 耳耳以難る由の南
 の方り道をとるなり。

長人と種類と異
 而為るが如しと
 雖も肢體の要具
 小異りたる所あり
 ることおし彼身
 長く肩お垂るる
 の民胸お穴あり
 國おどの事情と
 古人の説ととの
 圖と画が志あり

よるべの岸お風暴
 多大海山残るも
 度ひ死後お近づ
 心北へ辛くも船
 のもぬまき人々

たるものさへ
因りての故あり
まし



再^か生^せを^を成^じす^を家^か

思^おひ^をを^を成^じす^を家^か

地^{この}を^を成^じす^を家^か

墨^め利^り加^かは^は喜^き印^{いん}里^り

如^{ごと}我^が稱^{しょう}を^を成^じす^を家^か

